

# 幼児教育第二世紀を迎えて

— 保育者にいまここで必要なるもの —

河 辺

杲 あきら

それは「自己」に直面できる経験

近年幼児教育に関する研修の機会がとみに多くなり、保育者がこれを選んで参加できるようになって来たことは喜ばしいことである。

数年前までは夏期休暇等を利用して開催される民間団体等主催の研修会の多くは、二期の運動会等の教材を中心に実施されていたが、近年は音楽リズム等の教材研究に加うるに一般教養的な内容を考慮し、保育者の心情を少しでも豊かにという企画が見られるようになって来ている。中には二泊三日という、宿泊して講師を中心の討議を主体とする研究会も企画され、そこでは保育者の心構え等が問題にされて来ている。

こうした研修会の動向は、教育行政機関において企画されて来た研修会が、ある形式を



もって実施されて来ていることに對する形式打破の風潮のようにも受けとれると共に、一方、保育者の本質的条件にもっと追ろうとする時代の要請に応えようとする動向とも考えられる。

しかしこれらのいずれかの研修会に参加し、受講した保育者の多くが、新しい知識やその指導技術を得ても、それが保育実践の改善にはどうも一時的、部分的なものとなり得ても、なにか基本的な保育姿勢の改善にはなお程遠いようである。このことは、受講者にアンケート等で数量的統計をした結果のものではないにしても、数多くの参加者の述懐等や、研修後の保育実践の研究会等の裏づけからも、先分言い得るのである。

これは保育研修と保育実践のつながりの困難さ、すなわち保育研修の限界等を物語るものなのか。それとも保育研修になにか基本的な側面が欠けているものなのか。種々論議のあるところと思うが、私は後者にあり、なお検討の余地のあることをここに提起したいのである。

もちろんこれから述べる基本的な保育者の心を課題とする研修は、一日や二日の研修日程や、講話を中心とする研修方法にも限界があることは論をまたない。

ところで保育実践の姿勢の基本的な改善は、とりもなおさず、“自己に直面できる経験”をもったかどうかということである。すくなくとも従来から実施されて来ている教材の伝達や指導技術の講習会、講演を中心とする研修会や、実践事例をもちよつての研究協議形式の研究会等では、とても保育者が自己に直面することは不可能に近いものと思う。それ

は、その研修会が少なくとも指導者と受講者の関係において、指導者は「教えてやろう」「……させよう」という姿勢であり、受講者は全く受身の立場に立っているからである。これは受講者、研修者が自己に直面できるような雰囲気でもないし、指導者（企画者を含む）と研修者の人間関係が、援助者と主体的な学習者との関係になっていないからである。（このことは、講演や教材指導技術の伝達を駄目だと否定しているのではない。それはそれなりの意味をもち、それなりの限界があることを認知しなければならない。）

例えば「自発性（私は「おのずから発するもの」「自然発生」と主張して来ている）を育てるのだ」と言っている保育者が、グループ活動を通して「私と自発性」について経験することである。また「保育者や友だちの話を正しくきくことを教えるべきだ」と言っている保育者自身が、グループ活動の中でどれだけメンバーの話が聞けるのか（単に内容のみをきくだけでなく、その人の気持ちにふれて聴くことができるか）、また保育者自身が自分のいま・ここで感じていることが他人にうまく伝えられるのかを体験することである。このことができることによって、保育者は「幼児に即く」ことができるようになるのである。

このような、人間として最も基本となるべきこと（センシビリティ＝感受性など）が自己訓練され、自覚されないで、保育技術や指導方法を論じているために——自己に直面する体験がないために——数多くの研修に数多く出席し研修しても、保育実践が基本的に改善されていないことに、保育者自身が気づくべきであろうし、そうした研修会を選ぶべきであろう。また教育行政機関は当然、折角の民間各種団体でこれを企画される場合に、こうした保育者が自己に直面できるような経験を加えた研修を工夫配慮してほしいも

のである。

ここに道元禅師のことばを付記したい。

「自己をはこびて方法を修証するは迷いなり。

方法きたりて自己を修証するは悟りなり。」

私は保育者に禅の境地までを期待しようとしているのではない。現在の研修では保育実践の基本的な姿勢の改善は望めないし、「保育の心」も把握できないと思うようになって来たので、この方向への着眼と努力を望みたいし、これを現実化していかなくは、幼児教育第二世紀の課題に応え得ないと思うのである。

(付記 このことに強い関心をもたれる方があれば、私の若干の体験的資料もあり、共同研究できれば幸いと思えます。(連絡をお待ちします。)

(洗足学園短期大学)

\*

\*

\*